

中学 2 年生 家庭科の授業で スウェーデン刺しゅうの作品制作を行いました

1 学期の後半から夏休みの宿題、そして 2 学期の 1 か月をかけて、家庭科の授業でスウェーデン刺しゅうの作品制作を行ってきました。

スウェーデン刺しゅうは旧ユーゴスラビアを中心として北欧から中欧にかけて発生した刺しゅうで、布地の織り目を数えながら、表側の織り目をすくって刺す技法を用います。根気を要する作業ですが、技術的には比較的簡単にできますし、同じパターンでも配色によってまったく異なる雰囲気を作り出せるのもこの刺しゅうの面白さです。生徒たちはコツコツと楽しみながら作業に取り組んでいました。

9 月の授業では布端の始末として、片ハムかがりをしてフリンジをつくり、左右は裏に折り接着芯とともにまつり縫いを行い、素敵な作品が仕上がりました。

